

事業名：駄菓子屋 すまいる笑店運営事業（ソフト事業） 団体名：すまいる笑店

概要：地域での多世代交流の激減により活気が低下しコミュニティが衰退。地域の活気を取り戻しコミュニティの醸成を図るため、地区公民館を拠点とした居場所づくりによって活気ある安心して暮らせる地域づくりを目指し、次の2点を念頭に取り組んだ。

- ・多世代を対象とした様々なイベントを通して交流を深め、共助の精神を醸成し、どの世代も安心して暮らせる地域づくり。
- ・既存の地域資源を活用し、当団体が活気ある事業を展開することによる、多世代交流のロールモデル化。

事業の内容

- ・地域の公民館を拠点として、毎月1回駄菓子屋を開催。
- ・加えて多世代交流型の季節イベント（登立地区鷺替え祭り出店、夏祭り、年末、年始）を開催。

総事業費

(単位：千円)

	予算額	実績額
報酬	72	63
消耗品	175	159
役務費	174	50
使用料及び貸借料	111	26
備品購入費	26	9
支出計	626	306
収入(まちづくり助成)	500	244
自己負担	126	62

ポイント

- 地域住民誰でも知っている公民館を活用することによる、気軽に参加できる環境の実現。
- 構成員が上天草市出身且つ子育て世代であることから、地域の特性と問題点を十分に理解しており、地域の方々と融和的に活動を進めることが出来る。

事業の成果：友達同士で徒歩や自転車で来店する子ども達が増え、子ども達の居場所としての役割が大きくなっていると実感する。開催回数が増すごとに、世代問わず来店者間の声掛けが、目に見えて増えた。特に季節行事においては、高齢者の参加も見られ、イベント開催を楽しんでもらうと共に、活動への賛同をもらった。駄菓子屋開催日に、子ども達と外遊びをしてくれる高齢者の方がおり、多世代交流がすすんでいる。

すまいる笑店開催の様子



事業名：駄菓子屋 すまいる笑店運営事業（アドバザ-招へい等人材育成事業） 団体名：すまいる笑店

概要：先駆的団体かつ当団体と事業形態が類似している、「つきの家(岐阜県本巣市)への視察及び研修を行い、ノウハウの教示を受ける。
視察後は構成員及びボランティア、すまいるメンバーの方々向けに報告会の開催を行う。当団体の課題と解決案について共有をすることで、活動の士気を高め、多世代交流と地域での共助の精神醸成を推進する。

事業の内容

2024年1月6日に、当団体の先駆的団体である、「つきの家(岐阜県本巣市)」を、すまいる笑店の構成員3名（宮元、荒木、荒木）で視察。

運営上の課題の共有や解決方法を教示いただき、2024年2月18日に当団体構成員へ向けた報告会を開催した。

総事業費

(単位：千円)

	予算額	実績額
研修旅費	201	152
使用料及び貸借料	35	1
消耗品費	4	0
支出計	240	153
収入(まちづくり助成)	240	153
自己負担	0	0

ポイント

先駆的団体かつ当団体と事業形態が類似している、「つきの家」への視察を行うことで、汎用性が高い情報が得られ、すまいる笑店の持続可能な運営につながる。

事業の成果：視察により、課題である安定的な資金運用に関するアイデア、自治体との協力に関する情報、SNS活用術を教示いただく。類似の活動を行っている複数の団体を紹介してもらう。報告会を開催することで、団体の課題を構成員ひとりひとりが自分ごと化する機会となったと共に、構成員の士気が上がった。

